

学位論文審査の要旨

学位申請者	<p style="text-align: center;">WONGSAMING SUREERUT</p> <p style="text-align: center;">【比較社会文化学専攻 平成27年度生】</p>	要 旨
論文題目	<p>タイ日母語場面と日本語接触場面における不満表明 ストラテジーに関する研究 ―遊びフレームへのリフ レーミングに着目して―</p>	<p>本論文は、まず母語場面におけるタイ語母語話者と日本語母語話者のそれぞれの不満表明ストラテジーの特徴を明らかにし、次に日本語接触場面におけるタイ語母語話者と日本語母語話者の言語行動の異同について明らかにすることによって、異文化間コミュニケーション教育に寄与することを目的とする。</p> <p>本論文は、タイ語母語場面と日本語母語場面における不満表明で用いられる言語行動に注目した研究 1、日本語接触場面における不満を言う側であるタイ語母語話者の言語行動について分析した研究 2、日本語接触場面における不満を言われる側である日本語母語話者の言語行動研究について述べた研究 3 で構成されている。</p> <p>以上の研究から、タイ語母語話者と日本語母語話者は問題解決に向けて様々なストラテジーを用いて会話を収束に向かわせていることを明らかにした。それらのストラテジーの中でも、タイ語母語場面のみに、不満表明の場面で冗談を言い、それによって不満表明のフレームから遊びフレームへのリフレーミングという現象が現れている点に注目した。遊びフレームへのリフレーミングによって、笑いを生みやすいような環境が作られ、不満表明による緊張した雰囲気緩和される。これによって、不満を言う側と言われる側との関係性が崩れることなく、互いの良好な雰囲気作りと関係性を維持することが可能になるという結論を得た。</p> <p>第1回審査委員会では、フレーム理論に基づき会話参加者の相互作用の詳細な分析から、遊びフレームへのリフレーミングの様相を描きだした点や異文化間教育への示唆に富む点が高く評価された。しかし、会話の分析の記述の仕方に修正すべき点があること、分かりにくい表現があることなどが、改善すべき事項として指摘された。申請者がこれらの要求に十分に応えた修正版を作成したことを確認した後、最終審査に進むことを決定した。</p> <p>公開発表会では重要な点を簡潔にまとめた分かりやすい発表を行い、参加者や審査委員の質問にも真摯な姿勢で的確に回答した。以上によって審査委員会は、博士（人文科学）(Ph.D. in Applied Linguistics) の学位授与に相当すると判断し、合格とした。</p>
審査委員	(主査) 教授 佐々木 泰子	
	准教授 山腰 京子	
	准教授 中西 公子	
	准教授 小松 祐子	
インターネット 公表	<p>○ 学位論文の全文公表の可否 (可 ・ <input checked="" type="radio"/> 否)</p> <p>○ 「否」の場合の理由</p> <p style="margin-left: 20px;">ア. 当該論文に立体形状による表現を含む</p> <p style="margin-left: 20px;">イ. 著作権や個人情報に係る制約がある</p> <p style="margin-left: 20px;"><input checked="" type="radio"/> 出版刊行されている、もしくは予定されている</p> <p style="margin-left: 20px;">エ. 学術ジャーナルへ掲載されている、 もしくは予定されている</p> <p style="margin-left: 20px;">オ. 特許の申請がある、もしくは予定されている</p> <p>※本学学位規則に基づく学位論文全文のインターネット 公表について</p>	